

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(令和3年12月1日)

項 目	ページ
1 農林水産部試験研究課題にかかる令和3年度外部評価委員会の結果について 【農林水産政策課】……………	2
2 第12回中海会議の開催結果について 【農地・水保全課、水産課】……………	4
3 国内外における鳥取県産品（松葉がに、星空舞、鳥取和牛等）の情報発信に ついて 【販路拡大・輸出促進課】……………	6
4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】……………	8

農 林 水 産 部

# 農林水産部試験研究課題にかかる令和3年度外部評価委員会の結果について

令和3年12月1日  
農林水産政策課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いましたので、報告します。

## 1 外部評価委員会

- (1) 実施時期 9月（書面審査による評価）
- (2) 評価者 学識経験者（鳥取大学、公立鳥取環境大学）、流通・経済界（市場関係者）、生産者（農業・林業・水産業関係者）、消費者 計10名

## 2 評価結果（別紙参照）

- (1) 評価対象
  - ア 来年度から取り組もうとする研究課題（事前評価対象 8課題）
  - イ 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題（中間評価対象 14課題）
- (2) 評価結果の概要
  - ア 事前評価課題 8課題全て、研究を実施する。
  - イ 中間評価課題 12課題は、研究を継続する。2課題は、研究内容・方法を見直して実施する。

### (3) 試験研究内容に関する委員の主な意見

#### ア 評価の高かった研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
農業試験場 (中間)	水稻・麦・大豆の 高品質・安定生産 を目指した病害虫防除技術の確立	夏季の高温化等、近年の気候変化に対応する病害虫防除技術の高度化は、県内での米や大豆の生産維持に不可欠と考える。
園芸試験場 (中間)	市場競争力のある鳥取オンリーワン 園芸品種の育成	産地間競争が激しくなっている中で、個々の作目について積極的に新品種の育成が進められているので、継続して研究を進めていただきたい。
中小家畜 試験場 (事前)	畜産臭気モニタリングと臭気対策指 導手法の開発	臭気の見える化は客観的に把握できるので、必要だと思う。住宅地の拡大や住民意識の高まりの中で非常に大切な研究と考える。
畜産試験場 (中間)	体外受精卵技術を活用した和牛増頭 と育種改良技術の確立	遺伝子診断により、鳥取和牛ブランドがいずれ安定供給されることが現実的になる印象を持った。生産者のコスト負担にならないことを望む。
林業試験場 (事前)	山地災害リスクを考慮した森林整備 手法の検討	近年の集中豪雨による土砂崩れが各地で頻発している。このような研究はとても大切で、是非、進めていただきたい。
栽培漁業 センター (事前)	アカモク資源持続的利用技術開発	アカモクの認知度も高まってきているので、需要と供給のバランスがとれるよう、早めの対策を立てることは大変よいことだと思う。

#### イ 研究内容・方法を見直して実施する研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
園芸試験場	中山間地園芸作物の安定栽培技術の 確立	中山間地の生活基盤を支え、農地の荒廃を防ぐために必要な課題であるが、活用する対象者を想定した研究とする必要がある。
林業試験場	鳥取県でのカラマツの育苗・植栽技 術の確立	皆伐再生林にカラマツが注目されているが、育苗技術の難易度や、植栽適地についてわかりやすく整理していただきたい。

## 3 今後の取組

- ・委員の専門性の高い意見や助言も踏まえながら、今後の試験研究課題への反映を行い、試験研究のより効率的な実施及び広く普及可能な技術の確立を図る。
- ・今回の評価結果をホームページ等で公開し、農業者をはじめ、広く一般県民の皆様が試験研究への理解促進を図る。

農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場	区分	試験研究課題名	試験期間	合計点 (15点中)	総合評価
1 農業 試験場	中間	水稻新品種育成試験	S43～継続	12.1	◎
	2 中間	水稻・麦・大豆の 高品質・安定生産を目指した病虫害防除技術の確立	H27～継続	12.8	◎
3 園芸 試験場	事前	新技術を活用した他産地に打ち勝つブドウ栽培技術の確立	R 4 ~ R 8	12.2	◎
	4 中間	市場競争力のある鳥取オンリーワン園芸品種の育成	R 1 ~ R 5	12.8	◎
	5 中間	鳥取のナシ産地活性化を目指す栽培技術の確立	R 1 ~ R 5	13.3	◎
	6 中間	「輝太郎」を核としたカキの産地力強化に向けた栽培技術の確立	R 1 ~ R 5	12.8	◎
	7 中間	中山間地園芸作物の安定栽培技術の確立	R 1 ~ R 5	11.8	○
	8 中間	鳥取の花きとシバ栽培を支える安定生産技術の確立	R 1 ~ R 5	12.4	◎
	9 中間	気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	R 1 ~ R 5	13.1	◎
	10 中間	野菜主要品目の生産拡大と高品質生産技術の確立	R 1 ~ R 5	12.4	◎
11 中小家畜 試験場	事前	畜産臭気モニタリングと臭気対策指導手法の開発	R 4 ~ R 6	12.5	◎
12 畜産 試験場	中間	粗飼料増産のための優良品種選定試験	H19～継続	12.5	◎
	13 中間	鳥取和牛ブランド向上試験	R 1 ~ R 5	12.2	◎
	14 中間	高能力種雄牛産子の子牛育成技術の確立	R 1 ~ R 5	12.3	◎
	15 中間	体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立	R 1 ~ R 5	12.9	◎
16 林業 試験場	事前	ナラ枯れ跡地における更新状況に関する研究	R 4 ~ R 6	12.4	◎
	17 事前	山地災害リスクを考慮した森林整備手法の検討	R 4 ~ R 6	13.5	◎
	18 事前	鳥取県内に造林されたカラマツの育成状況と材質に関する研究	R 4 ~ R 7	12.1	◎
	19 事前	CLTのラミナの乾燥品質向上に係る研究	R 4 ~ R 8	12.5	◎
	20 中間	鳥取県でのカラマツの育苗・植栽技術の確立	R 1 ~ R 4	11.9	○
21 栽培漁業 センター	事前	貝類付加価値向上対策事業	R 4 ~ R 6	12.4	◎
	22 事前	アカモク資源持続的利用技術開発	R 4 ~ R 8	12.6	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

評価項目	
事前評価	研究ニーズ・緊急性(5点満点) 研究計画・目標の整合性(5点満点) 生産者・消費者への波及効果(5点満点)
中間評価	必要性・社会情勢の変化(5点満点) 進捗状況及び達成見込み(5点満点) 生産者・消費者への波及効果(5点満点)

## 第12回中海会議の開催結果について

令和3年12月1日  
総合統括課  
水環境保全課  
農地・水保全課  
水産課  
河川課

沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、中海に関する諸問題を協議検討する第12回中海会議を以下のとおり開催しました。

(参考) 中海会議とは

平成21年12月19日に締結した鳥取、島根両県知事の「協定書」を踏まえ、沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、新たに中海の水に関する諸問題を協議検討するため設置（平成22年4月22日）した会議。

※個別課題の検討・調整を行うため、次の4つの部会等を設置している。

- ①中海湖岸堤等整備にかかる調整会議 ②中海の水質及び流動会議 ③中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ  
④中海の利活用に関するワーキンググループ

- 1 日時 令和3年10月13日（水）午後2時から4時まで  
2 場所 WEB会議  
3 出席者 国土交通省中国地方整備局長、農林水産省中国四国農政局次長、鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市長、松江市長、安来市長  
＜オブザーバー＞ 環境省（中国四国地方環境事務所長）、防衛省（美保基地副司令）

### 4 概要

#### (1) 中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

○部会「中海湖岸堤等整備に係る調整会議」（事務局：中国地方整備局出雲河川事務所）から、中海湖岸堤整備の進捗状況等について報告が行われるとともに、大橋川改修事業の条件として、大橋川拡幅の前段階で中海湖岸堤を先行して時系列的に整備する手順を踏まえ事業を進めることについて、改めて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・中海湖岸堤の短期整備箇所については、鳥取島根両県ともに完了し、短中期整備箇所の整備促進を図るとともに、浸水実績のある中期箇所の前倒し整備を行っている。
- ・そのうち、短中期整備箇所である米子港防波堤箇所については、一部区間が「かわまちづくり計画」として事業化され、昨年度、県と米子市との調整を図りながら詳細な設計を実施し、本年度は工事の促進を図っていく。

[主な意見]

- ・近年の中海の水位上昇傾向は地球温暖化の影響もあり、高潮発生が増えているように思っており、こういう状況が下流域で起きているということについて、是非、留意いただきたい。（米子市長）
- ・中海護岸整備が進み、外水より内水の方に問題が起きており、市としても雨水管理総合計画に着手したいと考えているので、必要な堤防等の整備についても一体的に整備できるようにお願いをしたい。（境港市長）
- ・大橋川拡幅よりも前に湖岸堤を整備するというのがお互いの本来の了解事項、ぜひ進捗を図っていただきたい。境港市では今回、大きな浸水が発生した。単なる内水被害と片付けることなく、今後の地球温暖化に伴う高潮や集中豪雨を勘案し、国交省と県の覚書に基づいて内水対策に協力いただきたい。（鳥取県知事）

#### (2) 中海の水質及び流動について

○部会「中海の水質及び流動会議」（事務局：島根県環境生活部）から、令和2年度の水質状況、改善に係る流入負荷対策及び湖内負荷対策の取組について報告が行われ、引き続き、現地での実証実験やシミュレーション等を行い、中海の効果的な水質浄化対策を講じていくことが確認された。

[報告の概要]

- ・令和2年度の水質は、COD（化学的酸素要求量）が環境基準点12地点の全てで第7期水質保全計画の水質目標値を達成し、目標達成となった。一方で、全窒素は11地点、全りんは9地点で目標を達成したが、全12地点で達成できていないことから未達成とされた。
- ・下水道整備や道路路面の清掃をはじめとする様々な取組により、中海全体の水質は長期的には改善傾向にある。また、米子湾の透明度は令和2年度に2メートルとなり、平成4年以来28年ぶりに目標値を達成した。
- ・令和2年度の部会の取組として、流入負荷対策では浅水代かきの効果検証実験を行ったところ、「通常の代かき」に比べて代かき時期の下流河川の汚濁負荷量が約半分まで減少することが分かった。
- ・湖内負荷対策では、米子湾エリアにおける覆砂効果のシミュレーションを実施し、覆砂範囲だけでなく米子湾の入

り口付近まで水質改善効果があると推定された。また令和2年度より、令和元年度の室内実験の結果を踏まえて米子市中央ポンプ場沖においてファインバブルによる底質改善効果の検証実験を開始しており、今後も取組を継続していく。

[主な意見]

- ・浅場造成や覆砂について、今後も継続するとともにその範囲を拡大していただきたい。(米子市長)
- ・浚渫窪地の水質への影響及び森山堤の開削の水質への影響も引き続きモニタリングを継続して調査して欲しい。宍道湖から流れ出る流入負荷の影響という課題についても両県が協力しながら検証事業を継続し、効果的な対策については、国土交通省や農林水産省にも協力をいただきたい。(鳥取県知事)
- ・浚渫窪地の問題は鳥取県知事と同じ考え方である。(安来市長)

### (3) 中海の水産資源の現状について

○両県が保有する漁獲量や漁業者数などのデータについて事務局(鳥根県政策企画局長)から報告された。また、昨年度の会議において、水質と水産資源との関係を調査・分析するための水産振興部会を設けてはどうか(松江市長)、との意見が示されていたが、水産振興部会は設けず「中海の利活用に関するワーキンググループ」において水産資源に関する長期的なモニタリング及び情報の収集、整理を行うことが確認された。

[報告の概要]

- ・漁獲量は、鳥取、島根両県ともに年々減少傾向であり、漁業者の減少と高齢化の進展による操業効率の低下が一つの要因と考えられる。他方、中海の利活用の取組として、サルボウガイのかご養殖試験や、マハゼの陸上養殖試験等の水産振興の取組が行われており、今後も地元の漁協及び関係機関と共同で各取組を進める。

[主な意見]

- ・汽水域としての特性も考慮し、水産資源と水質改善の関係性等について「中海の利活用に関するワーキンググループ」で協議してほしい。(松江市長)
- ・中海会議の関係会議だけではなく、漁業調整を目的に設置されている「中海及び境水道における漁業に関する鳥取・島根両県協議会」が水産資源の回復や有効利用について協議する場として活用が可能。(鳥取県知事)

### (4) 中海沿岸農地の排水不良について

○「中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ」(事務局：米子市経済部)から、中海沿岸農地の排水不良改善の取組状況について報告がなされるとともに、引き続き、関係機関が公共残土に関する情報の共有化を図り、客土(農地嵩上げ)材としての公共残土受け入れを促進していくことについて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・崎津モデルほ場(A=3.3ha)において、令和2年度はA=0.19haの客土を実施し、全体進捗が59%となった。また、令和元年度から彦名地区(A=0.7ha)で排水対策工事に着手し、令和2年度はA=0.18haの客土を実施し、全体進捗が26%となった。
- ・対策農地における営農改善が図られ、ねぎや里芋など栽培が可能となったと農業者から評価を受けた。

[主な意見]

- ・他にも排水不良農地もあるので、どのような作物が栽培できるか含め対応したい。(米子市長)

### (5) 中海の利活用について

○「中海の利活用に関するワーキンググループ」(事務局：鳥取県令和新時代創造本部)から、中海の利活用の取組について報告がなされるとともに、今後も着実に取り組んでいくことを確認した。

[報告の概要]

- ・中海周辺でのサイクリング推進に向け、「ダイジョウブシステム」等の設置等、サイクリスト支援の取組を展開した。
- ・「中海ふれあい公園」の整備をはじめ、マリンスポーツ等、観光振興・地域振興に繋がる周辺環境整備を重点的に取組み、自然環境を生かした交流人口の拡大、インバウンドの受け入れを強力に進めていく。
- ・マハゼの陸上養殖試験、海藻の有効活用等での官民連携の取組に加え、水鳥等をはじめとした生態系ネットワークを活かしたモデルツアーの開催等、中海の資源を利用した地域活性化・経済振興の実現について引き続き取り組んでいく予定。
- ・米子港のウォーターフロント開発の促進、中海ワイズユースと連携した中海周辺の賑わいの創出等、地域活性化に寄与する拠点づくりに向け、ウィズコロナを見据えた取組を積極的に展開していく予定。

[主な意見及び提案]

- ・ハード整備をはじめ、案内看板、給水・休憩ポイントの設置等、サイクリングコースの更なる魅力向上に繋がる取組をお願いしたい。(米子市長)
- ・市場向けの魚種を含め、中海の水産資源の状況を把握し、もっと情報発信していきたい。(境港市長)

# 国内外における鳥取県産品（松葉がに、星空舞、鳥取和牛等）の情報発信について

令和3年12月1日  
販路拡大・輸出促進課

松葉がに、星空舞、鳥取和牛など、鳥取県産品の情報発信の主な取組について、以下のとおり報告します。

## 1 国内での県産品の情報発信

### (1) 松葉がに等

#### ◆レストランフェア「六本木ヒルズ × 鳥取県 冬の味覚」

- ・期 間：11月19日(金)～12月2日(木)
- ・場 所：六本木ヒルズ内の飲食店 13店舗
- ・内 容：六本木ヒルズ内のレストランで本フェアのために考案された、鳥取県産食材を使用したスペシャルメニューを提供する。
- ・使用食材：松葉がに、親がに、紅ズワイガニ、鳥取和牛、とっとりジビエ、星空舞など



贅沢 松葉がにどんぶり



#### ◆鳥取かに食べようキャンペーン

鳥取県産の松葉がに、親がに、紅ズワイガニの購入、またはこれらを使ったメニューをお店で食べられた方を対象に、抽選で50名様に鳥取和牛をプレゼントする。

- ・期 間：11月7日(日)～1月31日(月)
- ・対象店舗：首都圏(6店舗)、中京圏(1店舗)、関西圏(17店舗)のとっとりゆかりの店、県産かに販売協力店(22店舗)



#### ◆蟹取県ウェブカニキャンペーン

おうちで「蟹取県グルメ」を楽しみたい方のために、ネットショップで松葉がに、親がに、紅ズワイガニ等を購入いただくと、抽選で27名様に松葉がにをプレゼントする。

- ・期 間：11月19日(金)～1月31日(月)
- ・公開サイト：オンラインショッピングモール「47CLUB」及び「PayPay モール JU 米子高島屋店」



### (2) 星空舞

#### ◆YouTubeによるPR

タレントのギャル曾根さんの公式YouTubeチャンネル「ごはんは残さず食べましょう」で平井知事がギャル曾根さんと一緒に様々な具材を入れた「星空舞」のおにぎりを作りながら、その魅力を全国の方々に発信する。

- ・公開日：11月15日(月)
- ・公開サイト：ギャル曾根公式YouTubeチャンネル「ごはんは残さず食べましょう」

URL：<https://youtu.be/tHS3RHsBixU>

- ・概 要：土鍋で炊いた「星空舞」のおにぎりに、ギャル曾根さんと知事が一緒に調理した具材（牛肉と県産白ねぎのすき焼き風、明太子、酒津塩鯖、ビビンバ風）をトッピング・試食して、その美味しさを伝える。



#### ◆FMラジオによるPR

東京FM、FM山陰による「星空舞」をテーマにした20秒CMで、その魅力を首都圏・山陰の方々に発信する。

- ・期 間：10月4日(月)～2月28日(月)
- ・時 間 帯：購買層に響く時間帯で放送（平日の7:30～8:30、及び17:00～19:00を中心に放送）
- ・概 要：生産者の声などを通じて「星空舞」の美味しさを発信する。

## 2 海外での県産品（鳥取和牛、松葉がに、富有柿、星空舞、日本酒等）の情報発信

### (1) 中国

#### ◆寧波阪急百貨店での鳥取県産酒プロモーションの開催（浙江省寧波市）

県内酒造事業者3社のお酒と健康補助食品事業者の青汁の認知度向上を図った。

- ・第1回寧波ジャパンブランドへの鳥取県ブース出展（10/16(土)～17(日)）
- ・百貨店内飲食店「種よし炉端焼き」でのフェア実施（10/16(土)～24(日)）
- ・百貨店内スーパー「イズミヤ」での試飲販売（10/16(土)～24(日)）



中国・寧波阪急百貨店内「イズミヤ」での販売

#### ◆国内在住中国人インフルエンサー招聘による情報発信

ABC キッキングスタジオと連携し、本県の食と観光情報をウェイボー（中国版 Twitter）により発信する。（12/14(火)～17(金)来県）

#### ◆ABC キッキングスタジオ深圳での郷土料理プロモーション

カニ汁や小豆雑煮といった鳥取の郷土料理をメニュープログラムとするクッキング教室により鳥取県のPRを実施する。（12/18(土)）



台湾高速鉄道 車内誌「T-Life」1月号掲載広告

### (2) 台湾

#### ◆台湾高速鉄道での鳥取和牛紹介広告の掲載

台湾高速鉄道（2020年度1日当たりの乗客約30万人）の座席に配架される車内誌「T-Life」1月号に、「鳥取和牛」の紹介記事を掲載する。

（1/1(土)～31(月)）

#### ◆ライブ配信による鳥取和牛のオークション販売

昨年度、1度で120kgを売り上げたライブ配信による鳥取和牛販売を本年度も実施する。（1～2月に2度）

#### ◆高級スーパー・裕毛屋での「鳥取県物産フェア」の開催

星空舞、鳥取和牛、ブロッコリー佃煮、麵製品、乳菓、日本酒等の販売を実施する。（2/18(金)～20(日)、4年連続5度目）



(参考)R2年度裕毛屋での展示

### (3) 韓国

#### ◆国内在住韓国人インフルエンサー招聘による情報発信

韓国向けに YouTube で発信するご家族を招聘し、紅ズワイガニや日本酒、乳菓などを動画内で使っていただいた。（11/5(金)～7(日)来県）

### (4) 香港

#### ◆国内在住香港人インフルエンサー招聘による情報発信

香港向けに旅行情報等を発信するご夫婦を招聘し、紅ズワイガニや日本酒、ブロッコリー、鳥取和牛、乳菓などを動画やSNS等で取り上げていただく。

（12/6(月)～9(木)来県）



韓国人インフルエンサー取材の様子

### (5) シンガポール

#### ◆ABC キッキングスタジオシンガポールでの県産食材プロモーション

シンガポール高島屋内の会場にて、輝太郎柿を用いたメニュープログラムを通じて鳥取県のPRを実施した。（10/18(月)～29(日)）



料理教室告知ポスター（シンガポール）

### (6) タイ

#### ◆高級百貨店内「サンフレッシュ・タイランド」での富有柿PR販売（バンコク）

30年以上前から輸出されている県産富有柿の認知度をさらに向上させることを目的に、サイアム高島屋内店舗でプロモーションを実施する。

（12月中旬～）

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和3年12月1日  
農地・水保全課

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課	東伯地区基幹水利施設更新工事	東伯郡琴浦町・北栄町	株式会社 東邦通信 代表取締役 山下 靖	277,970,000円 (設計額 302,198,600円)  落札率 91.9%	令和3年12月10日 ～ 令和4年11月16日	令和3年10月14日	【工事内容】 農業用ダム水管理システム更新 西高尾ダム放流警報設備 1式 小田股ダム放流警報設備 1式 船上山ダム系放流警報設備 1式 ファームポンド2-1子局計測設備 1式	制限付一般競争入札 3社  令和3年10月12日 開札
農地・水保全課 (東部農林事務所)	西谷地区地域ため池(上堤)改修工事(2工区)	八頭郡八頭町西谷	株式会社 桜宮 代表取締役 田中 弘樹	138,710,000円 (設計額 148,491,200円)  落札率 93.4%	令和3年10月20日 ～ 令和4年9月5日	令和3年10月20日	【工事内容】 ため池改修工事 堤体工 盛土工 V=9,770m <sup>3</sup>  取水施設工 L=38.2m  洪水吐工 L=29.4m  仮設工 水替工 1式 仮設道路 1式	制限付一般競争入札 6社  令和3年10月8日 開札



【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	般若ため池改修工事 (その1)	倉吉市 般若	福井土建株式会社 代表取締役 福井 重秋	(当初契約額) 115,500,000円	令和3年3月29日 ～ 令和3年10月25日	(当初契約年月日) 令和3年2月12日	【工事内容】 ため池改修工事  堤体工 (17,627) 掘削工 V= 17,327m3 (13,791) (4,069) 盛土工 V= 14,216m3 (内改良工V=4,182m3)  洪水吐工 L=26.6m  取水施設工 L=30.4m  土取場工 (10,848) 掘削工 V=11,193m3  仮設工 工事用道路 1式 水替工 1式  ○変更内容 本年7月の豪雨により、現場外から土石が流入し仮設施設 (道路・排水管)が流失する被害が生じ、復旧に要する費用 の追加及び工期の延伸を行うもの。	
				(第1回変更後契約額) 123,990,900円 〔変更額〕 8,490,900円	(変更後工期) 令和3年3月29日 ～ 令和3年12月24日	(第1回変更契約年月日) 令和3年10月22日		